



2020年10月5日

## トヨタモビリティ東京株式会社

## 「SOSハンドブック」が米国スミソニアン博物館2019最優秀事例集に採択

トヨタモビリティ東京（社長 片山 守）が日本聴覚障害者建築協会（AAJD）の趣旨に賛同し、協賛・共同制作した「SOSハンドブック」が米国スミソニアン博物館 2019 年最優秀事例集に採択され、同館ホームページに掲載された。同最優秀事例集の刊行は、スミソニアン博物館初の試み。

「SOSハンドブック」は、10か国11言語に対応し、外国人や障がいのある方との緊急時コミュニケーションツールとして、当社の全店舗に常備している。また、要望の多かった「SOSハンドブックのWeb化」も2019年（「平成30年度東京都在住外国人支援事業助成」対象事業）実用化。今年、QRコードから読み込んで、スマートフォンやパソコンでも利用することが可能となった。

米国スミソニアン博物館は、障がいをもった来館者も多いことから、2019年初頭、博物館関連の専門家に対し、世界中から障がい者に対してどのような配慮をしているかという具体例「ベスト・プラクティス（良い事例集）」を公募。

SOSハンドブックは、障がい者がスマートフォンを使い博物館へ行く際の問題解決策として秀逸であるとして採択され（採択率53%）、9月に刊行、同博物館のホームページに掲載された。

当社はこれからもダイバーシティの取り組みを通じて、SDGs達成に貢献してまいります。



<左>SOSハンドブックと<右>スマホ版の画面



<SOSハンドブックのQRコード>

以上

トヨタ モビリティ東京株式会社

<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp>

ご取材の問い合わせ：CSR推進部広報グループ 中川

TEL 03-5439-2430 FAX 03-5439-8244